

だより 34号

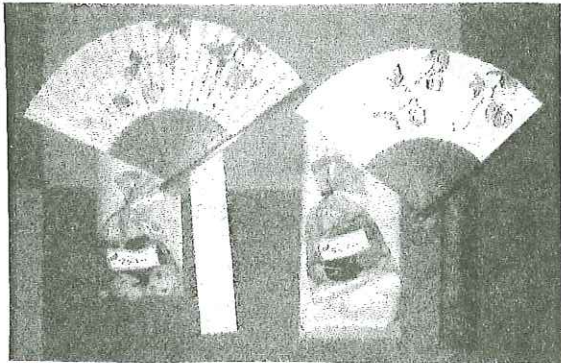
発行者 ボランティアグループ なの花

会長 森田 元治

発行所 792-0834 新居浜市中西町 16-20

「やまね」 Tel 0897 41-0104

発行日 2011. 10. 10



敬老の日のプレゼント

敬老の日

台風12, 15号による大雨で日本各地では大きな災害が発生しました。

これから過ごしやすい時候になります。夏の疲れを取り去り、気持ちの良い日常生活ができるよう心がけてください。

やまねでは、敬老の日を迎えられた方に気持ちですが、小品にお手紙を添えてプレゼントさせていただきました。これからもお元気でありますように。

ボランティア研修に参加

9月10日新居浜ボランティア連絡協議会の研修があり、四万十町窪川のボランティア連絡協議会を訪問しました。

両協議会の会長の挨拶に続いてメンバー紹介。それぞれのテーブルごとに個別の意見交換をしました。

新居浜から18グループ、窪川から10グループ合わせて約50名が交流しました。

やまね に対しては、窪川の生きがいサロンの代表から運営についての質問がありました。

「やまね」は

高齢者が気軽に立ち寄ってお茶でも飲みながらお話や五目並べ、編み物などができる趣味の場、話しの場、語らいの場(家)です。来ていただくとボランティアが居ます。それぞれが来たいときに来て、帰りたいときに帰る仕組みです。

利用料として300円を頂いております。



ボランティアフェスティバル

10月2日ボランティアフェスティバルが心地よい天気にも恵まれふれあいプラザ でありました。

フェスティバルは、ボランティア団体、障害者施設、介護施設、警察署、消防署、医師会などが参加し、日頃の活動状況を市民に見て、知ってもらおうという行事です。

フェスティバルには、市内の保育園児の絵画も展示されました。

やまねからは、ベスト、足カバー、毛糸編みのたわし、布ぞうりなどを出品しました。

高齢者に必要な災害の備え

9月12日 角野公民館で「高齢者に必要な災害の備え」ということで、東日本大震災の支援に行かれた社協の小野雅之さんから体験を聞きました。

災害に対応できるよう、日頃隣り近所との声掛けや支援方法を話し合っておくことの必要性を話されました。

また、小野さんは自宅の災害の心が構えとして、玄関に非常時に持出しできる避難袋を置いていることを話され、わたしもそうしようと思いました。



非常時に持出しできる避難袋

被災地に寒さ対策の帽子を

社協角野支部が東北の被災された方に冬物の衣料品を送るので協力して欲しいというチラシを見ました。

やまねでも何か協力できることはないかと考え、寒さを防ぐのに毛糸の帽子を編んで少しですが要望にお応えさせていただきました。



[運動会]と[孫の参観日]

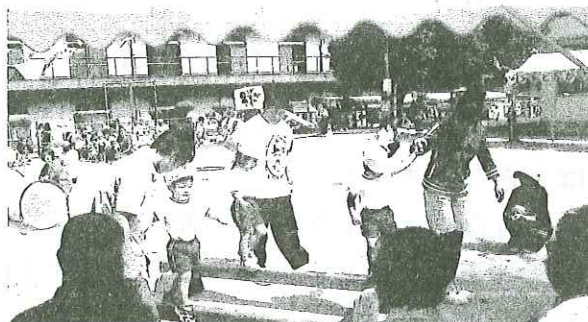
角野保育園の「運動会」と「孫の参観日」の二つの行事に招かれました。

子どもたちのかけっこ、父兄の綱引きと力いっぱい出し切った運動会でした。

「孫の参観日」は、約50名のお年寄りを歓迎のあいさつで迎えてもらい、歌や踊りでもてなしてくれました。

やまねのお年寄り3名は、お手玉と草の葉をたたいてパーンと鳴らす遊びを披露しました。

その後、園児といっしょに昼食をいただきました。園児さん楽しかったです。ありがとうございました。



やまね作品展のご案内

利用者とボランティアが作った作品の展示会を次のように催しますのでぜひおいでくださいますようご案内いたします。

日時 11月5日・6日 10～16時

アルミ缶のご提供に感謝

アルミ空き缶やプルタブのご提供を多くの方にいただいていることに感謝申し上げます。これからもよろしくご協力をお願いいたします。